

教科名	芸術	科目名	書道Ⅰ	学年	1年	単位数	2
教科書	東京書籍 書道Ⅰ		副教材	授業で使用する用紙等を指定の販売日に購入			

1 担当者からのメッセージ

小・中学校では「書写」や「習字」として授業を受けてきました。美しく正しい文字を身につけてきましたね。高校の「書道」では、文字の歴史や筆法を学びます。その上で自己の内面を表現できる様な作品を創り出していきますよ。楽しんでください！

2 学習の到達目標

臨書 日本・中国の歴史的価値のある文字を学び、基本的筆法を会得し、線質・形・内面までも表現できる（知識・技能）

創作 臨書を元にし、題材選び・自らの表現を試作し、自己の内面を表わす作品を創作できる。

（思考・判断・表現）（主体的に取り組む態度）

鑑賞 自身の作品の内面をも発言し、他社の作品にも芸術的な美を見つけ出せる。（主体的に学習に取り組む態度）

3 学習計画

		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期 中間	書写から書道へ 行書の学習	・「書道」の歴史的・芸術的価値を認識する。 ・行書の筆遣いを学び・表現方法を得る。
	前期 期末	臨書と作品創作 仮名の学習	・中国古典をベースとし、自己の表現方法を学ぶ。 ・日本固有の仮名の歴史と表現方法を会得する。
後期	後期 中間	仮名作品の創作 実用の書（年賀状）	・俳句作品を創作し、日本人の感性を認識する。 ・年賀状を題材とし、日本文化の継承を計る。
	学年 末	漢字仮名交じりの書 創作作品制作・鑑賞	・日常の言葉を題材とし、芸術的表現をする。 ・自己の内面を表現・他者の作品の価値も認識する。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本・中国の文化の一端を認識し、筆遣いなどを会得できる。	文字の持つ表現性を感じ、自己の表情を創作できる。	積極的に作品創作の情報を得て自己の内面を表現し、他社の作品鑑賞にも参加できる。

5 評価方法

計70時間（50分授業）

単元ごとの提出作品による知識と技能の評価（35%）

創作作品による思考・判断・表現の評価（35%）

作品の題材とする文字や言葉を得る為の主体的に学習に取り組む態度（30%）